

2009 年度「データ科学ワークショップ」（「科学情報学研究会」）

プログラム案

7 月 31 日版

日程：2009 年 8 月 20-21 日

会場：北海道大学 学術交流会館（北大正門を入ってすぐ）

<http://www.hokudai.ac.jp/bureau/gaiyou/2007/p46/img/46-2.gif>

注：(I)は招待講演：講演 40 分+質疑応答 10 分

(C)は一般講演：講演 25 分+質疑応答 5 分

8 月 20 日（木）

9 時 30 分～9 時 40 分 挨拶 堀之内 武（北海道大）

9 時 40 分～10 時 30 分 「かぐや」重力場モデルの構築について (I) 松本 晃治（国立天文台）

10 時 30 分～11 時 20 分 小惑星探査機『はやぶさ』におけるデータ解析の実際 (I) 出村 裕英（会津大），はやぶさ Science Team

11 時 20 分～11 時 50 分 大規模分散データ処理システム Hadoop の惑星科学データベースへの適用可能性検討 (C) 山本 幸生（JAXA/ISAS）

昼 食

13 時 30 分～14 時 20 分 宇宙地球環境科学のためのクラウドコンピューティング:情報通信研究機構 OneSpaceNet への取組み (I) 亘 慎一・森川 靖大（情報通信研究機構）

14 時 20 分～15 時 10 分 巨大データ可視化のためのプラットフォーム (I) 下條 真司（情報通信研究機構）

休 憩

15 時 40 分～16 時 10 分 データ・ショーケース・システム Dagik による地球科学データ可視化ファイルの共有 (C) 吉田 大紀（京都大）

16 時 10 分～16 時 40 分 Gfdnavi の目指す方向と現状 (C) 西澤 誠也（神戸大）

懇 親 会

8月21日(金)

9時00分～9時30分 GEO Gridの情報基盤:現在の課題と今後の展開 (C) 小島 功 (産総研)

9時30分～10時00分 Planetary Data Access Protocolの開発 (C) 山本 幸生 (JAXA/ISAS)

11時00分～11時30分 よくわかる緊急地震速報 (C) 大竹 和生 (気象研究所)

11時30分～12時00分 ATLAS 大規模転送処理演習の経験 (C) 坂本 宏 (東京大・素粒子国際センター)

昼 食

13時30分～14時20分 蛋白質立体構造データベースとその検索 (I) 金城 玲 (大阪大・蛋白研)

14時20分～15時10分 生命情報学が直面する大規模ゲノムデータ時代の課題 (I) 片山 俊明 (東京大・医科研)

休 憩

15時30分～16時00分 バーチャル天文台を利用した天文学研究の成果と今後の期待 (C) 白崎 裕治・小宮 悠 (国立天文台)

16時00分～16時30分 JVO 構築を通じて学んだこと (C) 大石 雅寿 (国立天文台)

16時30分～16時50分 総 合 討 論

16時50分～17時00分 終わりの挨拶 大石 雅寿 (国立天文台)
